

# 日本赤十字社幹部看護師研修センター

## 平成22年度 研修のご案内

近年の保健医療福祉環境が大きく変化する社会状況の中では、看護管理者はゆるぎない看護の本質を持ち、柔軟に対応し、変革する力が求められます。

さらに、人間の生命や尊厳に関わる看護管理において、的確性と深い人間への洞察力が求められます。

この教育課程はこれらのことを踏まえ、豊かな人間性を養い、組織の推進者、変革者として活躍できる看護管理者の育成をめざします。

### 1. 研修日程・定員 (セカンドレベルコースのみ若干名の再募集をします)

研修名	期間・講義時間	定員
日本看護協会認定看護管理者 ファーストレベルコース	平成22年4月13日(火)～7月23日(金)	50人 (赤十字推薦者含む) <u>平成22年度の募集は 終了いたしました</u>
日本看護協会認定看護管理者 セカンドレベルコース	平成22年9月7日(火)～12月17日(金)	50人 (赤十字推薦者含む)
日本看護協会認定看護管理者 サードレベルコース	A期:平成22年5月25日(火)～6月18日(金) B期:平成22年8月17日(火)～9月3日(金) C期:平成23年2月3日(木)～2月25日(金)	20人 (赤十字推薦者含む) <u>平成22年度の募集は 終了いたしました</u>

\* 講義は基本的に月曜日～金曜日です。

\* ファーストレベル、セカンドレベル受講希望の方

上記期間内で日本看護協会が定める時間数を受講していただきます。

その他の科目も選択は可能です。

\* サードレベルコース受講希望の方

A期とB期で日本看護協会が定める規定時間数を終了します。

C期についても選択していただくことは可能です。

2. 教育目的・目標

ファーストレベルコース	セカンドレベルコース	サードレベルコース
<b>目 的</b>		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1.看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度の習得をめざす</li> <li>2.看護を提供するための組織化並びにその運営の責任の一端を担うために必要な知識・技術・態度の習得をめざす</li> <li>3.組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析する能力の拡大をめざす</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.第一線監督者または中間管理者に求められる基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度の習得をめざす</li> <li>2.施設の理念ならびに看護部門の理念との整合性をはかりながら担当部署の看護目標を設定し、その達成をめざして看護管理過程が展開できる能力の拡大をめざす</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.社会が求めるヘルスサービスを提供するために看護の理念を掲げ、それを具体化するために必要な組織を構築し、運営していくことのできる能力の拡大をめざす</li> <li>2.看護事業を起業し運営するにあたって必要となる経営管理能力に関する知識・技術・態度の習得をめざす</li> </ol>
<b>目 標</b>		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1.看護管理の歴史的発展過程を通して管理のあり方を考察するとともに、管理の原理・原則を理解し、管理者としての役割を学ぶ</li> <li>2.看護に関する制度や理論をより深く学び、自己の看護観を深め専門職としての自律性を確立する</li> <li>3.看護管理過程を展開する上での条件となる保健医療福祉制度等を理解する</li> <li>4.サービスの基本的概念を理解し、看護職として対象となる人々の権利を尊重し、安全を保証しながら、より質の高い看護サービスを提供するための方法について学ぶ</li> <li>5.提供したサービスの評価を行うための知識、技術を習得する</li> <li>6.組織の目的を達成するために必要となる行動がとれるよう組織集団の基本概念や集団の力学的諸機能を学ぶ</li> <li>7.チームリーダーとしての役割を自覚し、柔軟に行動できるよう自己能力の拡大をはかる</li> <li>8.情報の概念を理解し、看護管理に活用できる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.医療経済の構造、現状について学び、変革が進む医療システムについて理解を深める</li> <li>2.組織運営に関する諸理論に基づき、担当部署の看護管理過程を評価し、質向上のための方策を見いだす</li> <li>3.他職種、他部門、他施設、地域等との協働・連携の方法論について学ぶ</li> <li>4.組織的看護サービスの質評価・改善の方法について学ぶ</li> <li>5.組織の理念、経営目標を達成するための中心的要素である人材の確保・育成・活用等、人的資源管理に必要な知識・技術・態度について学ぶ</li> <li>6.看護職者のキャリア開発について、概念・理念、具体的方法について学ぶ</li> <li>7.情報テクノロジーの保健医療福祉への導入・活用の現状を分析し、将来を展望できる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理上に与える影響を考える</li> <li>2.看護現場の状況を分析・データ化し職能団体、行政機関等へ提示できる能力を養う</li> <li>3.社会が求めるヘルスケアサービスをアセスメントし、目的の達成を目指した看護の組織化を図るための諸理論を学習する</li> <li>4.経営者あるいはその一員として、経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる能力を養う</li> <li>5.トップマネージャーが備えるべき要件について学ぶ</li> </ol>

### 3. 認定看護管理者制度における教育課程

#### 1) 日本看護協会認定看護管理者ファーストレベルコース 150時間

教科目	ねらい	時間数
看護管理概説	・看護管理の歴史的発展過程を通して管理のあり方を考察するとともに、管理の原理・原則を理解し、管理者としての役割を学ぶ	15 時間
看護専門職論	・看護に関する制度や理論をより深く学び、自己の看護観を深め専門職としての自律性を確立する	30 時間
ヘルスケア提供システム論	・看護管理過程を展開する上での条件となる保健医療福祉制度等を理解する	15 時間
看護サービス提供論	・サービスの基本的概念を理解し、看護職として対象となる人々の権利を尊重し、安全を保障しながらより質の高い看護サービスを提供するための方法について学ぶ ・提供したサービスの評価を行うための知識・技術を習得する	45 時間
グループマネジメント	・組織の目的を達成するために必要となる行動が取れるよう組織集団の基本概念や集団の力動的諸機能を学ぶ ・チームリーダーとしての役割を自覚し、柔軟に行動できるよう自己能力の拡大をはかる	30 時間
看護情報論	・情報の概念を理解し、看護管理に活用できる	15 時間

#### 2) 日本看護協会認定看護管理者セカンドレベルコース 180時間

教科目	ねらい	時間数
医療経済論	・医療経済の構造、現状について学び、変革が進む医療システムについて理解を深める	30 時間
看護組織論	・組織運営に関する諸理論に基づき、担当部署の看護管理過程を評価し、質向上のための方策を見出す ・他職種、他部門、他施設、地域等との協働・連携の方法論について学ぶ ・組織的看護サービスの質評価・改善の方法について学ぶ	60 時間

人的資源活用論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の理念、経営目標を達成するための中心的要素である人材の確保・育成・活用等、人材資源管理に必要な知識・技術・態度について学ぶ</li> <li>・看護職者のキャリア開発について、概念・理論、具体的な方法について学ぶ</li> </ul>	60 時間
情報テクノロジー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報テクノロジーの保健医療福祉への導入・活用の現状を分析し、将来を展望できる</li> </ul>	30 時間

### 3) 日本看護協会認定看護管理者サードレベルコース

180時間

教科目	ね ら い	時間数
保健医療福祉政策論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理上に与える影響を考える</li> <li>・看護現場の現況を分析・データ化し職能団体、行政機関等へ提示できる能力を養う</li> </ul>	30 時間
保健医療福祉組織論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会が求めるヘルスケアサービスをアセスメントし、目的の達成を目指した看護の組織化を図るための諸理論を学習する</li> </ul>	45 時間
経営管理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営者あるいはその一員として、経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる能力を養う</li> </ul>	75 時間
経営者論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トップマネージャーが備えるべき要件について学ぶ</li> </ul>	30 時間

#### 4. 学習方法

- 1) 教室での講義、グループ演習、個人演習など
- 2) 受講後、担当講師から提示された課題についてレポートを提出する

#### 5. 修了について

- 1) 全ての科目の出席時間が規定の4/5以上であること。
- 2) 全ての科目修了試験に合格すること。  
科目の評価は、A(100~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)、D(59点以下)の4段階とし、C以上を合格とする。

6. 受講要件・受講料(税込)

ファーストレベルコース	セカンドレベルコース	サードレベルコース
<p>以下の要件(1)(2)(3)を満たす者であること。</p> <p>(1)日本国の保健師・助産師および看護師のいずれかの免許を有する者</p> <p>(2)保健師・助産師および看護師のいずれかの免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者</p> <p>(3)管理的業務に関心があり、管理的業務に従事することを期待されている者</p>	<p>以下の要件(1)(2)(3)を満たす者であること。</p> <p>(1)日本国の保健師・助産師および看護師のいずれかの免許を有する者</p> <p>(2)保健師・助産師および看護師のいずれかの免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者</p> <p>(3)認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程を修了している者。または認定看護管理者認定審査受験資格のある者*1</p>	<p>以下の要件(1)(2)(3)を満たす者であること。</p> <p>(1)日本国の保健師・助産師および看護師のいずれかの免許を有する者</p> <p>(2)保健師・助産師および看護師のいずれかの免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者</p> <p>(3)認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程を修了している者。または認定看護管理者認定審査受験資格のある者*1</p>
100,000 円*2	118,000 円*2	127,000 円

\*1 認定看護管理者認定審査受験資格のある者とは、以下の要件をすべて満たす者をいう。

- (1)日本国の保健師・助産師および看護師のいずれかの免許を有すること
- (2)保健師・助産師および看護師の資格取得後、実務経験が通算5年以上あること
- (3)以下のいずれかの要件を満たしていること
  - ①ファーストレベル、セカンドレベル、サードレベルの認定看護管理者教育の全課程を修了している者。
  - ②看護部長または看護部長に相当する任にある者で、過去に合計4週間(20日間)以上の看護管理研修を受けている者
  - ③副看護部長または副看護部長に相当する職位に1年以上就いている者で、過去に合計4週間(20日間)以上の看護管理研修を受けている者
  - ④看護系大学院において看護管理を専攻し修士号を取得している者で、実務経験が通算5年以上あり、うち修士課程修了後の実務経験が3年以上である者
  - ⑤師長以上の職位での管理経験が3年以上ある者で、看護系大学院において看護管理を専攻し修士号を取得している者
  - ⑥師長以上の職位での管理経験が3年以上ある者で、大学院において管理に関連する学問領域の修士号を取得している者

\*2 ファーストレベルコース、セカンドレベルコースの場合、看護管理実習を選択される方は、上記受講料のほかに、別途実習費用がかかります。金額は実習施設によって異なります。

7. 応募について

1) 応募方法

下記の①②の書類を提出してください

- ① 平成 22 年度 日本看護協会認定看護管理者教育コース 申込書
- ② 各自の要件に必要な書類（下記の「4）提出書類」参照）

2) 応募先

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3 日本赤十字社幹部看護師研修センター

3) 応募締切

平成 22 年 5 月 31 日(月) 当日の消印有効

4) 提出書類（記載された個人情報、当センターにおいて適正に管理し同研修に係る連絡・書類作成のためだけに使用させていただきます）

(1)セカンドレベルコース

- ①平成 22 年度 日本看護協会認定看護管理者教育コース 申込書
- ②志望動機を論述したもの（A4 用紙 1 枚、横書き、1600 字以内、パソコン等使用）
- ③受講要件(3)において自分が該当する要件に必要な書類

受講要件	提出書類
認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程を修了している者	<input type="checkbox"/> ファーストレベル修了証写し
看護部長または看護部長に相当する任にある者で、過去に合計 4 週間(20 日間)以上の看護管理研修を受けている者	<input type="checkbox"/> 左記職位に関する勤務施設長の勤務証明書 <input type="checkbox"/> 看護管理研修の修了証または受講証明書等の写し
副看護部長または副看護部長に相当する職位に 1 年以上就いている者で、過去に合計 4 週間(20 日間)以上の看護管理研修を受けている者	<input type="checkbox"/> 左記職位に関する勤務施設長の勤務証明書 <input type="checkbox"/> 看護管理研修の修了証または受講証明書等の写し
看護系大学院において看護管理を専攻し修士号を取得している者で、実務経験が通算 5 年以上あり、うち修士課程修了後の実務経験が 3 年以上である者	<input type="checkbox"/> 当該修士課程修了証の写し <input type="checkbox"/> 修士課程修了後の実務経験が 3 年以上ある勤務施設長の勤務証明書
師長以上の職位での管理経験が 3 年以上ある者で、看護系大学院において看護管理を専攻し修士号を取得している者	<input type="checkbox"/> 師長以上の職位での管理経験が 3 年以上ある勤務施設長の勤務証明書 <input type="checkbox"/> 当該修士課程修了証の写し
師長以上の職位での管理経験が 3 年以上ある者で、大学院において管理に関連する学問領域の修士号を取得している者	<input type="checkbox"/> 師長以上の職位での管理経験が 3 年以上ある勤務施設長の勤務証明書 <input type="checkbox"/> 当該修士課程修了証の写し

8. 受講者の選考

書類選考とします。

選考結果は、後日応募者あて通知します。

9. 問い合わせ先

日本赤十字社幹部看護師研修センター

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3 日本赤十字看護大学 5 階

電話 03-3499-1709 (月～金曜日 9:00～17:30)

FAX 03-3407-1269

年 月 日現在

平成22年度 日本看護協会認定看護管理者教育コース 申込書			
研修コース名 (受講するコースに○印 を記入してください)		ファーストレベルコース	
		セカンドレベルコース	
		サードレベルコース	
職 ・ フリガナ 氏名	職能※		写真添付 (上半身正面) (無 帽) 3×4cm 3ヶ月以内
	職位		
生 年 月 日	年 月 日 (満 歳)		
現 住 所	〒		
	電話番号	昼間の連絡先	
メールアドレス			
所属施設名			
所属施設住所	〒		
	電話番号		
日本看護協会会員	番号	/ 入会手続中	実務経験 年
学 歴	卒 業 学 校 名		卒 業 年 月
	看 護		年 月
			年 月
			年 月
	(高 校 以 上 一 般)		年 月
			年 月
		年 月	
職 歴	勤務先名	職位	勤務年月日
			～
			～
			～
			～
			～
			～

※職能とは、「看護師」「保健師」「助産師」のうち現在の職名を記入してください

看護 管理 者 研 修	ファーストレベル	取得年月日
	セカンドレベル	取得年月日
	その他 (研修会名) (日 数)	
施設内や看護協会 などでの活動		
研究発表 (テーマ、発表の場)		

セカンドレベルコースまたはサードレベルコースを応募の方は、  
受講要件(3)について適応する番号1つに○をつけ、必要書類を添付して申し込んでください

番号	受講要件	必要書類
1	認定看護管理者制度ファーストレベルを修了している者	<input type="checkbox"/> ファーストレベル修了証写し
2	認定看護管理者制度セカンドレベルを修了している者	<input type="checkbox"/> セカンドレベル修了証写し
3	看護部長または看護部長に相当する任にある者で、過去に合計4週間(20日間)以上の看護管理研修を受けている者	<input type="checkbox"/> 左記職位に関する勤務施設長の勤務証明書 <input type="checkbox"/> 看護管理研修の修了証または受講証明書等の写し
4	副看護部長または副看護部長に相当する職位に1年以上就いている者で、過去に合計4週間(20日間)以上の看護管理研修を受けている者	<input type="checkbox"/> 左記職位に関する勤務施設長の勤務証明書 <input type="checkbox"/> 看護管理研修の修了証または受講証明書等の写し
5	看護系大学院において看護管理を専攻し修士号を取得している者で、実務経験が通算5年以上あり、うち修士課程修了後の実務経験が3年以上である者	<input type="checkbox"/> 当該修士課程修了証の写し <input type="checkbox"/> 修士課程修了後の実務経験が3年以上ある勤務施設長の勤務証明書
6	師長以上の職位での管理経験が3年以上ある者で、看護系大学院において看護管理を専攻し修士号を取得している者	<input type="checkbox"/> 師長以上の職位での管理経験が3年以上ある勤務施設長の勤務証明書 <input type="checkbox"/> 当該修士課程修了証の写し
7	師長以上の職位での管理経験が3年以上ある者で、大学院において管理に関連する学問領域の修士号を取得している者	<input type="checkbox"/> 師長以上の職位での管理経験が3年以上ある勤務施設長の勤務証明書 <input type="checkbox"/> 当該修士課程修了証の写し

\*記載された個人情報、当センターにおいて適正に管理し同研修に関係する連絡・書類作成のためのみに使用させていただきます。

# 勤務証明書

年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_

## 1. 在職期間

上記の者は当施設において、以下のとおり勤務している／したことを証明します

\_\_\_\_\_年 月から \_\_\_\_\_年 月まで

通算 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_ヶ月間

## 2. 職位

上記の者は当施設において、以下の職位である／あったことを証明します

\_\_\_\_\_年 月から \_\_\_\_\_年 月まで

職位 \_\_\_\_\_

施設名：

所在地：

施設長名：

印